



QX MKIIシリーズ  
取扱説明書

# 正しく安全にお使いいただくために

この製品を設置する前に、以下の指示を必ずお読みください



この記号は、本製品に付属する文書に重要な操作およびメンテナンスに関する指示が記載されていることを示しています

以下の指示をよくお読みのうえ、必ず守ってください。

本書を大切に保管し、いつでも確認できるようにしてください。

接続を行う前に、システムに接続されているすべての機器の電源を切ってください。

システムの電源を入れる際やソースを切り替える際は、ボリュームを最小に設定し、音量は徐々に上げてください。

アンプを最大音量で使用しないでください。

アンプの電源をONにする前にシステム内のすべてのスピーカーが正しく配線、結線されていることを確認してください。

スピーカーを過度の寒さ、熱、湿気、または直射日光にさらさないようにしてください。

スピーカーの上に重い物を置かないでください。

スピーカーの設置に不安がある場合は販売店にご相談ください。

スピーカー端子を電源に接続しないでください。

スピーカーを分解しないでください。

内部にはユーザーが修理できる部品はありません。分解を行うと保証が無効になります。

修理が必要な場合は、必ず資格を持つサービス担当者に依頼してください。

機器が損傷した場合、雨や湿気にさらされた場合、正常に動作しない場合、または落下した場合は、修理が必要です。

注意: 製造元から明示的に承認されていない変更や改造を行った場合、ユーザーによる本製品の使用权が無効になることがあります。



WARNING:

アンプが出力能力を超えて駆動されると、歪んだ波形が発生し、スピーカーが過熱して故障する原因となります。  
アンプをONの状態ですべてのスピーカーを長時間放置しないようにし、音に歪みが生じた場合は、直ちにボリュームを下げてください。

---

## 保証について

本保証の諸条件は、購入者に対してのみ適用され、譲渡不可であるため、販売店が保証内容を変更することはありません。

購入証明として、販売時の領収書を保管してください。

保証請求は、可能な限り購入した販売店を通じて行ってください。

保証期間や適応条件などは合同会社ヴィアトロニクスが発行する保証書(別紙)をご参照ください。

---

## 製品に関する基本的な情報や取り扱いについて



スピーカーを設置する前に、本書の指示をよくお読みください。  
このマニュアルを読んでいただくだけで、長年にわたりスピーカーの優れた性能を発揮することができます。  
このシンボルが付けられたページに記載されている注意事項にも十分ご注意ください。

---

# はじめに

Missionは、本格的なオーディオクオリティと現代的なデザインを融合させたライフスタイルオーディオを提供するUKブランドです。

QX MK.IIシリーズは、Missionの長い歴史の中でも最新の優れた商品群です。  
このシリーズには、最適化されたウーファードライバーと先進的なツイータードライバーが搭載されています。  
すべてのスピーカーユニットはMission社の工場で製造されています。  
また、全てのモデルに高品質なバインディングポストが装備されています。

QX MK.IIスピーカーは、Missionの掲げるテーマ Music Leads, Technology Followsが示すように  
長年にわたり、素晴らしい音楽体験を提供します。

---

## 製品に関する基本的な情報や取り扱いについて



スピーカーを設置する前に、本書の指示をよくお読みください。  
このマニュアルを読んでいただくだけで、長年にわたりスピーカーの優れた性能を発揮することができます。  
このシンボルが付けられたページに記載されている注意事項にも十分ご注意ください。

## 開封・準備

Mission QX-3 MKII、QX-4 MKII、QX-5 MKIIのフロアスタンディングモデルは、  
使用前に付属のスパイクを取り付ける必要があります。  
付属のネジを使用して、スピーカーの底部にプリックを固定してください。  
ネジが完全に締まっていることを確認してください。  
ブックシェルフタイプのモデルにはこのような準備は必要ありません。

スピーカー背面のバスポートからフォームバングを取り外してください。  
すべてのQX MKIIスピーカー(QX-C MKIIを除く)はバズリフレックスエンクロージャーです。  
フォームバングは通常必要ありませんが、特に壁などの近くでスピーカーを使用する場合、低音の特性を調整したり  
共鳴を抑えるために使用することができます。  
必要に応じて、各スピーカーのポートにバングを取り付け、リスニング環境に合わせて調整してください。

フォームバングは取扱説明書、保証書などと一緒に保管することをお勧めします。

---

## スパイクの取り付け

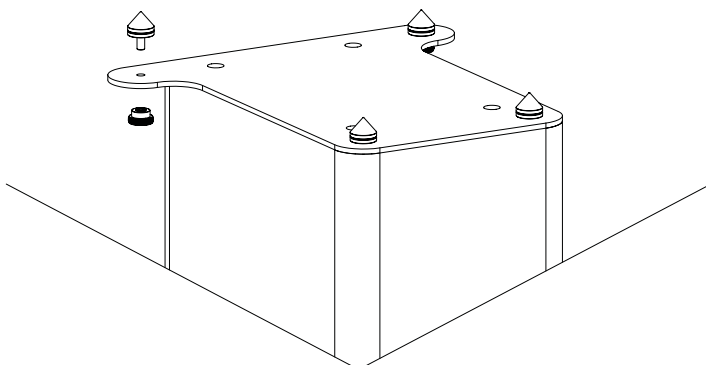
警告:スパイクは鋭利です。怪我をしないように注意してください。

!!

スピーカーの設置エリア内に、スパイクで傷つける可能性のある配線や障害物がないことを確認してください。  
スパイクが装着された状態のスピーカーを引きずらないでください。  
移動する必要がある場合は必ず持ち上げてください。その際は2人以上で行うようにしてください。

プリックの各コーナーには取り付け用の穴があります。各穴にスパイクを通し、スパイクが固定されるようにコラーを軽く締めてください。  
ただし、完全にロックしないようにしてください。

すべてのスパイクが取り付けられたら、スピーカーを逆さまにして、慎重に床に置いてください。



# スピーカーケーブルの結線

## 一般的な結線用法

スピーカーケーブルには極性があります。＋を正しく接続してください。  
バナナコネクター等を使用しない場合ケーブルを約25mm以上分割し、それぞれ8mm絶縁体を剥がします。  
ケーブルが撚り線の場合は、撚り合わせてください。

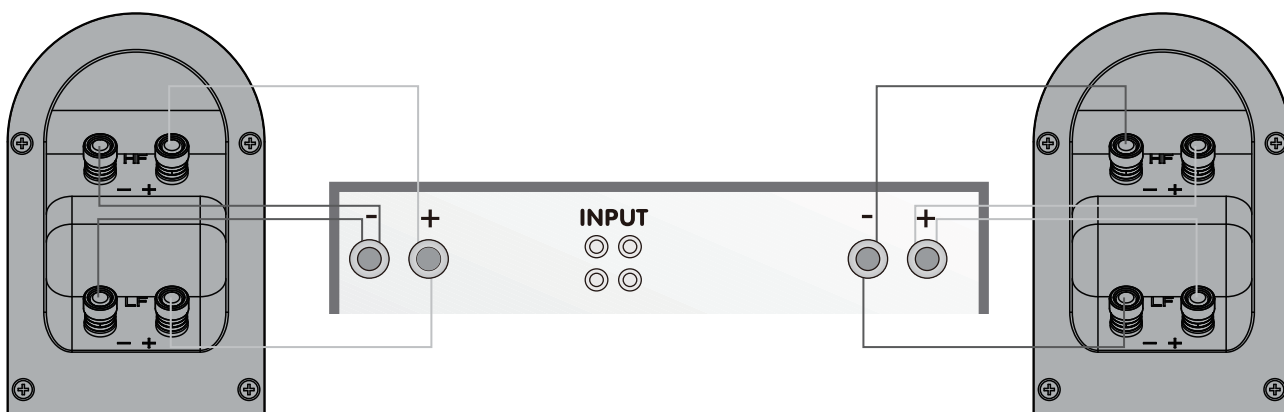
## スピーカーターミナル: バインディングポスト

QX MKIIシリーズには、2つ(または4つ)の端子があります。

端子を外し、ケーブルの裸端をクロスホールに通し、ワイヤーの先端がほつれないように確認します。その後、しっかりと締めてください。  
赤いターミナルが、黒いターミナルがーです。極性に注意し正しく結線してください。

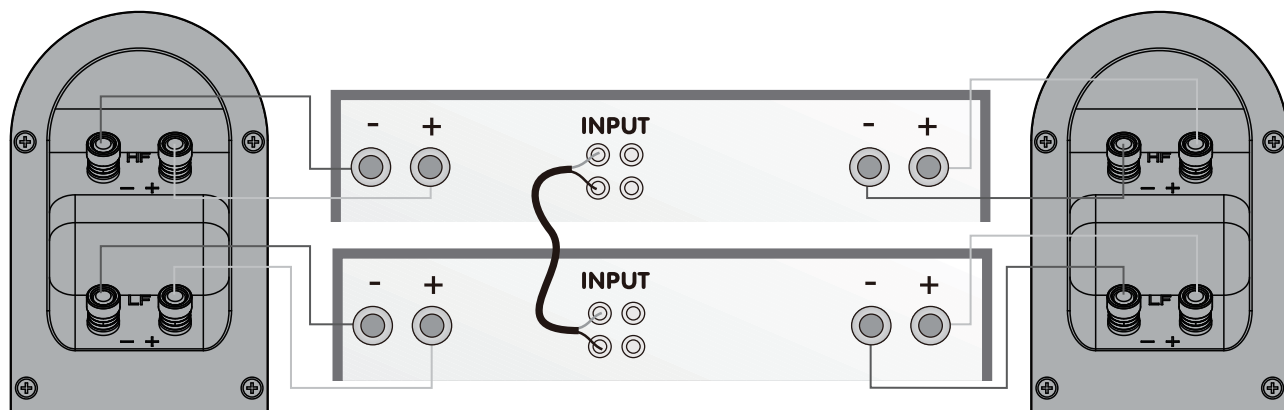
## バイワイヤリング(シングルアンプ)

Mission QX MKIIシリーズのフロアスタンディングモデルは、性能向上のためにバイワイヤリングが可能です。  
ショートリンクを取り外し、端子ペアごとにケーブルを接続し、アンプの出力端子で共通の接続を行います。  
下の図はバイワイヤリング接続の例です。

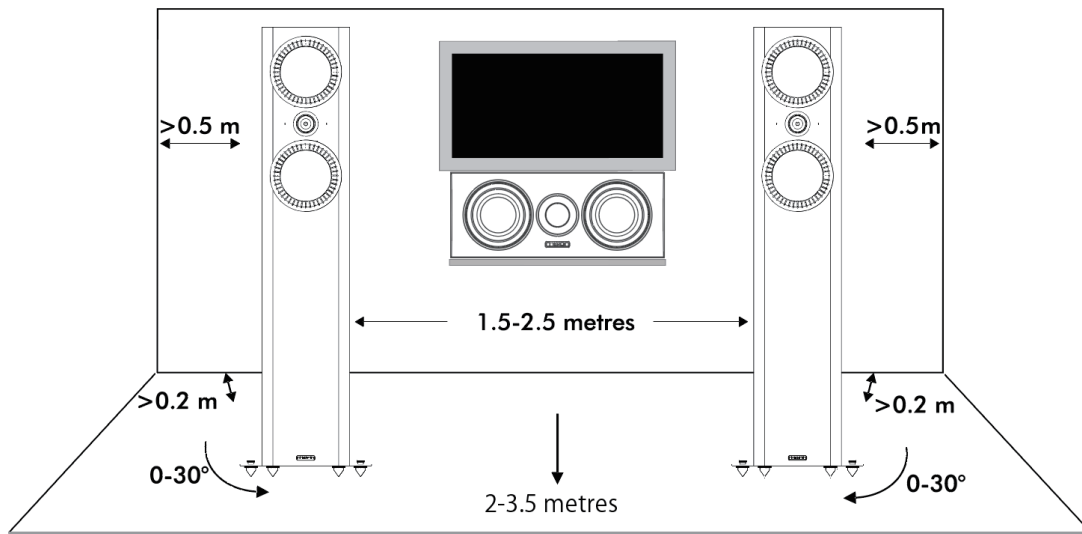


## バイアンプ接続

Mission QX MKIIシリーズのフロアスタンディングモデルは、  
LF(低音)およびHF(高音)ドライブユニットにそれぞれ別々のアンプを使用することで、さらに性能を向上させることができます。  
以下の図はバイアンプ接続の例です。



## スピーカーの設置位置



### フロアスタンディングモデルおよびブックシェルフモデル

Mission QX-3 MKII, QX-4 MKII, QX-5 MKIIスピーカーは、床に設置するのが理想的です(できればスパイクを使用してください)。Mission QX-1 MKIIおよびQX-2 MKIIは、堅牢なスタンドに設置し、できればスタンドのスパイクを使用することをおすすめします。スタンドマウントする場合、座っているリスナーの耳の高さにスピーカーの上部が来るように配置してください。

また、壁からの距離も音質に大きく影響します。スピーカーが壁に近すぎると低音がこもり、音が不自然に感じることがあります。スピーカーを部屋の中央に移動させると、音がクリアになる反面、低音が少し減少することがあります。

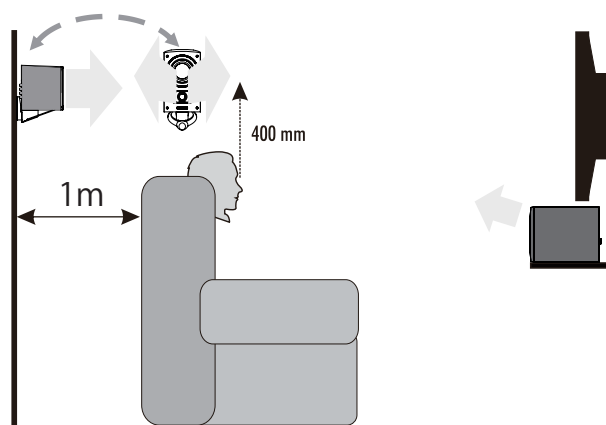
まず、スピーカーを壁から約30cm、スピーカー同士は約1.8m離して配置してみてください。各スピーカーと側壁との距離は、少なくとも50cmは確保するようにします。

スピーカー間の距離や壁からの距離やスピーカーの角度を調整して、最適なステレオイメージが得られるような位置を探します。

### センタースピーカーおよびサラウンドスピーカー

QX-C MKIIのセンタースピーカーは、テレビの上やテレビの下に設置するのが理想的です。テレビの上の場合は注意が必要です。棚やキャビネットがスピーカー重さに耐えられること、取付が安定していることを確認してください。スタンドを使用する場合はスピーカーとテレビ画面の中央がそろるように配置してください。

サラウンドスピーカーは、リスニング位置の後ろ、頭の高さより少し高い位置に設置するのが理想です。スタンドやブラケットを使って、側面や後方の壁に取り付けることができますが、常にリスニング位置の後ろに配置してください。また、サラウンドスピーカーはテレビ画面から45cm以内の距離で使用しないようにしてください。



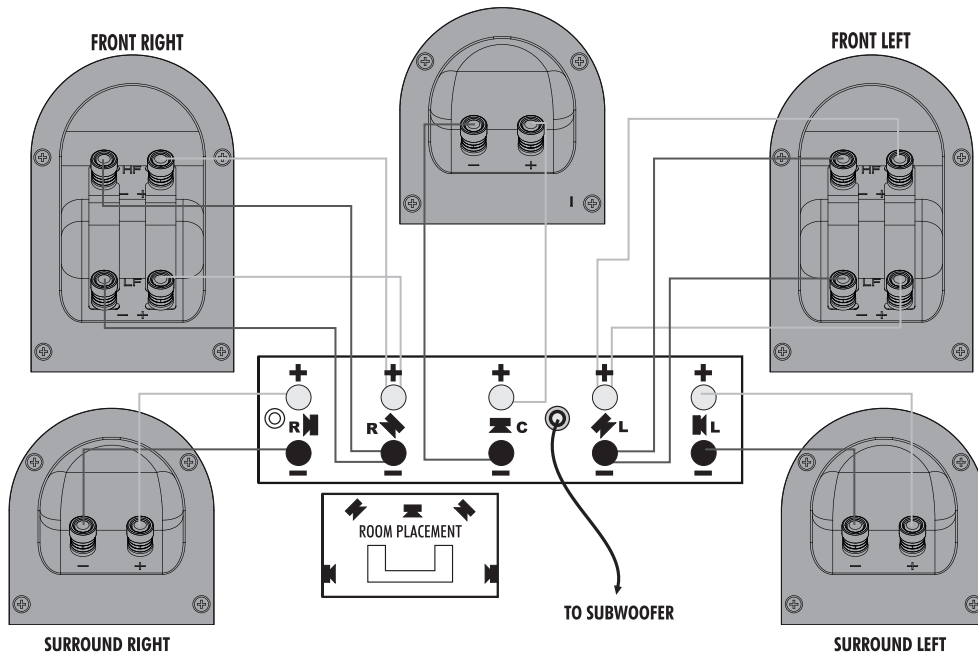
### 位相の確認

スピーカーの位相を確認するには、スピーカーのバインディングポストとアンプのスピーカー出力ターミナルそれぞれでケーブルの極性をチェックしてください。

スピーカーが正しく接続されていれば、クリアな中音域と深みのある力強い低音が得られ、豊かな音楽が楽しめます。

## 5.1 ch サラウンド接続

以下の図はサラウンド接続する時の配線例です。

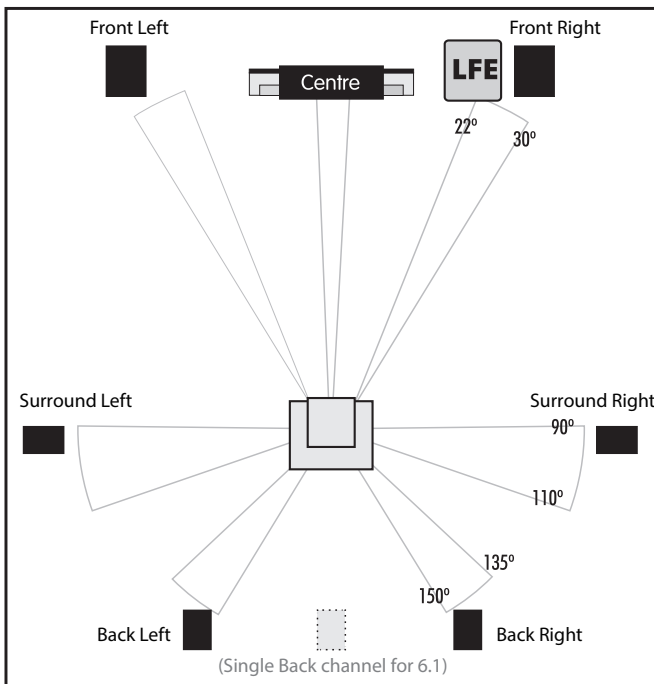


## スピーカーのクリーニング

スピーカーの掃除は、布を使って軽く拭き取ってください。指紋などを落とす際は、時々であれば軽く湿らせた布で拭くことも可能です。

グリルは取り外し可能ですが、このスピーカーはグリルを付けた状態で最も良い音が出るように調整されているため、グリルの取り外しは推奨していません。もしグリルを掃除する必要がある場合は、柔らかいブラシを使って慎重に掃除してください。

## ホームシアターのスピーカーセッティング



### ■フロントスピーカー

フロントスピーカーは、テレビモニターの両脇に設置し、2~3メートル離して配置します。リスニングポジションに向け角度をつけて設置してください。

### ■サラウンドスピーカー

サラウンドスピーカーは、リスナーの頭の後ろ、高い位置に設置することをおすすめします。後ろの壁がリスニング位置から1メートル以上離れている場合は、サイドウォールに設置することもできます。壁がリスニング位置からかなり遠い場合は、スタンドを使用してスピーカーを設置することを検討してください。

### ■センタースピーカー

ダイアログ(台詞)の大部分はセンタースピーカーから再生されます。なるべくフロントスピーカーとセンタースピーカーの高さが同じになるように配置してください。キャビネットの前面はテレビ画面と水平に合わせるように設置します。

---

## アフターサービス

アフターサービスを受けるには、この製品を購入した販売店に連絡し、購入証明書と保証書を提示してください。  
事前に販売店、代理店(弊社)の承諾なしに商品を返送しないでください

製品を検査、または修理のために返送する場合、元箱や同等の保護ができる梱包材を使用し、厳重に梱包した上でなるべく保険付きの追跡可能な宅急便で返送するなどのご配慮をお願いいたします。  
不適切な梱包が原因の破損が確認された場合、保証が無効となる可能性がありますのでご注意ください。

検査の結果「不具合なし」「修理不要」と判断された場合、返送費用はお客様のご負担となります。

修理は輸入代理店(弊社)によって行われます。  
弊社の承認または許可なく処理された第三者による修理作業が行われていると判断した場合保証対象外となります。

弊社は公式な販売店以外に修理サービスや部品、交換品を提供することはできません。

別紙の保証書に記載された内容に加えて、Mission及び代理店(弊社)、販売店は次の事項に対して責任を負いません。  
Mission製品に接続された製品に対する損失、損害、または故障。

修理のために製品を返送する場合は購入した販売店、もしくは弊社にご返送ください。  
弊社にご返送される場合は事前に下記の連絡先までご連絡ください。  
返送先、返送に際しての注意事項をご案内いたします。

Mission 輸入代理店  
合同会社ヴィアトロニクス  
045-548-6595  
info@fbdaudio.jp  
営業時間: 10時~17時(土日祝祭日および年末年始、お盆、その他弊社の定める休日)



MISSION